

まんまるはーと月形町



# 月形町

旬の新鮮情報

2018年8月号

## JA月形町&(株)エーコープつきがた主催 第10回 ビール祭り開催!!



### 8月のこよみ

#### (六) 葉月(はづき)

成長のはげしい月であり、もっとも葉の繁ることからこう呼ばれています。また、イネの穂が張る月という説もあります。

- 6日【広島原爆の日】
- 7日【立 秋】  
暑さが強くとも涼風が吹きはじめ、秋の気配が立つ頃
- 9日【長崎原爆の日】
- 15日【終戦記念日・月遅れお盆】  
戦後73年・平和を祈念する日
- 23日【処 暑】  
旺盛な太陽も次第に衰え、処暑も退く頃

### 今月の行事予定



24日(金) 理事会



樺戸神社秋季例大祭宵宮祭



25日(土) 樺戸神社秋季例大祭



URL:<http://www.hamanasu.to/ja-moon/>

# 第10回 JA月形町&(株)エーコープつきがた主催



## ビール祭りの開催



カンパイ!



JA青年部は特製やきそばを販売



会場の様子



お菓子をどうぞ



「レッドムーン」をよろしく



上手に飲めるかな?



一番早い人は?



抽選会の様子

七月二十日、JA月形町&(株)エーコープつきがた主催「第十回ビール祭り」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、会場となった月形町役場駐車場には多くの方々にお越し頂き、終始にぎわいました。今年には月形商工会青年部の協賛を頂き、この日販売開始となったオリジナル商品「レッドムーン(ビールとトマトジュースを使用したカクテル)」を使って商工会青年部長 福村氏の乾杯で始まり、お祭りの中盤では子供たちはラムネ、大人はビールの早飲み競争が行われ、その様子が会場は盛り上がりました。終盤にはビール祭り恒例の大抽選会が行われ、盛況のうちに終了となりました。

# 月形産ミニトマト・メロン・スイカ出荷が始まりました

七月二日から月形産ミニトマト、四日からは青肉メロン「月雫(つきのしずく)」と黒皮スイカ「ダイナマイトスイカ」の出荷が始まりました。

ミニトマトは七名の生産者が出荷、箱詰めされた八十ケースが市場へ出荷されました。

「月雫」を出荷したのは南札一地区の小林 衡氏と南札二地区の明田大樹氏で、七十七ケースが札幌と岩見沢の市場に出荷され、翌五日のセリでは最高一万五千円となりました。また、「ダイナマイトスイカ」を出荷したのは南札一地区の横井廣實氏で、この日は四十五ケースを出荷し、うち二十六ケースが翌日札幌の市場で競りにかけられ、最高二万円となりました。

料理の付け合せやそのまま食べてもおいしいミニ



ニトマト、清涼感溢れる甘味と香りが特徴の「月雫」、シャリシャリと軽い口当たりで爽やかな甘みに加えて遊び心のある箱絵が目を引く「ダイナマイトスイカ」は、

月形町の特産品として出荷されています。



## 小麦収穫作業がはじまりました

七月二十四日より(有)フューチャーと(有)アクティブ4が三十年産小麦の収穫作業が始まり、翌二十五日に秋まき小麦「きたほなみ」約四十三トン穀類乾燥調製施設「こめ工房」で荷受けしました。



昨年と同時期の収穫開始ですが、今年は細麦傾向が強くと収穫量の減少が心配されており、この後に収穫を迎える春まき小麦の出来上りに期待されます。

これから収穫作業も本格化し機械作業も多くなってきましたが、熱中症や作業中の事故に十分注意して作業を進めましょう。



# 平成三十年度水稲現地講習会開催

七月四日、五日の二日間に渡り四カ所で水稲現地講習会を開催し二十  
八名の生産者が参加しました。

講習会では農業改良普及センター向川専門普及員が講師となり、幼  
穂形成期以降の水管理と病害虫防除について説明され、生産者は熱心  
に聞いていました。



北農場2地区



知来乙地区



札比内地区



南耕地1地区



## Photo News

■7月12日  
年金友の会 研修会



■7月3日  
月形町小麦・大豆生産組合  
栽培講習会



■6月29日  
月形花き生産組合  
流通懇談会



退職者

徳永 貴

(業務部 営農推進課)

平成三十年四月一日入組  
平成三十年七月三十一日  
退職

合格おめでとう  
ございます

農業協同組合内部監査士  
合格者

横道 竜司

(業務部農産販売課  
農産販売係長)

土井 真夕美

(金融部貯金共済課  
貯金共済係)



# 月形町小麦・大豆生産組合視察研修報告

7月14日から15日の1泊2日の行程にて、小麦・大豆生産者13名、月形町職員1名、農協担当者2名で、帯広市で開催された国際農業機械展への視察研修を実施しました。

近年は経営規模の拡大が進み、農業従事者の高齢化や担い手不足などの構造的な問題が生じてきている中で、GPSやICT(情報通信技術)、ロボット技術等を活用した機械が普及し始め、これらの技術が農業の発展を大きく変えていくものと期待されていることから、知識習得を目的に実施して参りました。

各農業メーカーのブースでは、高精度の衛星測位システム「RTK-GNSS」を利用し、高精度の作業を実施するロボットトラクターなどが紹介されており、GPSによる防除作業の効率化、自動操舵システムによる作業の省力化が期待される農機の導入費用など今後の営農の参考になる機械知識を多く習得することができました。

自動操舵システムについては、当産地においても活用されておりますが、安価なシステムであれば約100万円から装着することができますが、価格により精度が異なり誤差の範囲もシステムの価格により幅が出てくるとの説明を受けております。

2日目には、芽室町と清水町の小麦、大豆生産圃場を視察し、輪作体系や肥培管理について説明いただき、基肥や防除など日々の管理方法についての情報交換をさせていただきました。

今回の視察研修においては、月形町農業の将来において情報通信技術を活用した農業経営を進めていく中で最新機械を見聞することで、農業の発展を目指していきたいと考えております。



## 月形小学校で「花育」授業開催

七月二十日、月形花き生産組合青年部は子供たちにフラワーアレンジを通して緑に触れ、花に興味を持ってもらおうと、月形小学校四・五・六年生約五十名を対象に、「花育」を実施しました。

（株）花奈フラワー取締役 横山 大<sup>よこやま だい</sup>氏を講師に迎え、前半はフラワーアレンジ作りを行い、児童は用意された地元「月形の花」を使い、アドバイスを受けながら楽しく作品づくりをしました。

後半は横山氏によるアレンジづくりのパフォーマンスが行われた後、自分たちで作った自慢のフラワーアレンジメントを手に記念撮影を行い終了となりました。



## 月形小学校で「食育」授業開催

七月二十日、月形町農協青年部は食育事業の一環として小学校三年生十六名を対象に開催しました。

前半は春夏秋冬の旬の野菜当てや、花の形を見て野菜の名前を当てるクイズを行い、野菜について学びました。

後半はお米が生産され食べるまでの過程を、写真を交えながら、児童にわかりやすく解説し終了となりました。

児童達も熱心にクイズに参加し、食べる事や地域の農業に対して関心を持ってくれたと思います。



# J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々とのピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## J A北海道中央会



七月二日、平成三十一年度農業関係予算概算要求に向けた農林水産省との意見交換会を、四〇五月にかけて各地区から寄せられた現場の意見を踏まえ、六月の各作目別対策委員会等で決定した、J Aグループ北海道の政策提案に基づき行いました。

J Aグループ北海道からは道連役員、J A組合長、青年女性組織代表者ら百四十三名が参加し、農協組織基盤、基本農政、水田、畑作青果、酪農畜産の各対策について要望内容を農林水産省に伝え、意見交換を行いました。

今後も持続可能な北海道農業確立に向けて、生産現場の意見をしっかりと国等に伝えて参ります。



## J A北海道信連



J Aバンク北海道は、特殊詐欺被害が多発している現状を踏まえ、北海道警察と連携し被害防止への取り組みを実施しています。六月に実施した「年金感謝ウィーク」では、J Aで年金をお受け取りされているお客様が来店した際、特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷した「招福ようかん」をお渡ししました。また、ラジオ番組では電話でお金を要求された際に家族や警察に相談することを幅広く呼び掛けています。



## ホクレン



ホクレンのオリジナルブランド玉ねぎ「環（※めぐる）」と「真白（※ましろ）」の売り上げの一部が活動に役立てられているコープさっぽろの事業「第十二回コープの森植樹祭」が、今年も五月から六月にかけて全道十一カ所で開催されました。

環と真白一パック購入ごとに二円を「コープ未来（※あしたの森づくり基金）」に協賛しており、二〇一七年度は、約六十三万円の実績となりました。



## J A共済連北海道



J A共済連では、七月八日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志三十四名が参加しました。他の企業も多数参加しており、J A共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、J A共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「J A共済」を知っていただくよう活動していきます。



## J A北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年三回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧下さい。



# 理事会だより

第六回理事会議案  
(七月二十三日開催)

- 監査第一号 平成三十年度 第一回(五月末) 定期監査報告について
- 付議第一号 平成三十年度 第一回(五月末) 定期監査事務処理について
- 付議第二号 出資金譲渡および減口の承認について
- 協議第一号 月形町農業協同組合七十周年式典・祝賀会の開催協議について
- 協議第二号 平成三十年度 正組合員宅個別訪問実施意見集約について
- 報告第一号 平成三十年 六月末現在組合員の動向について
- 報告第二号 平成三十年 六月末現在財務状況について
- 報告第三号 平成三十年 六月末現在事業計画・実績対比について
- 報告第四号 お盆の業務予定について
- 報告第五号 平成三十年度 共済一斉推進実績について
- 報告第六号 平成三十年度 花き・果菜類の販売状況について
- 報告第七号 平成三十年度 第二回(七月末) 購買品現品棚卸しの実施について



## こんにちは 農民連盟

- 7月 -



- 1日 神谷ひろし衆議院議員 政経セミナー委員長
- 4日 白川祥二 そらち後援会臨時総会  
委員長、副委員長、書記長、柴田  
委員長、副委員長、書記長
- 11日 源泉徴収税納付相談会  
常任委員ミーティング  
委員長、副委員長、書記長、石川、打田、黒宮、柴田
- 12日 白川道議オルグ活動 委員長、石川常任委員
- 24日 常任委員会 常任委員

## 農協文庫 今月号 新刊のお知らせ

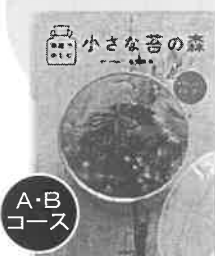
今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課までご連絡下さい。

## 2018年8月のおすすめ新刊図書のご案内

### 部屋で楽しむ

### 小さな苔の森



おしゃれなインテリアとして大人気の苔テラリウム。手軽に作れるうえに室内で楽しめるので、初心者でも安心して育てられる。本書では種類別の作り方と特徴、管理方法を詳しく解説。苔の魅力が詰まった一冊。

石河英作 著  
定価: 1,512円(税込)  
B5変型版・96頁

A・B  
コース

### 体にうれしい

### 藤井恵のまいにち納豆



「おいしくて体にいい」をテーマにした料理が人気の藤井恵さんによる納豆レシピ。そのまま使えるあえものやサラダはもちろん、ハンバーグやコロケ、カレーなど多彩に展開。「1日1納豆」で毎日元気に!

藤井 恵 著  
定価: 1,296円(税込)  
A5判・112頁

A・B  
コース